

令和4年度第1回太宰府市総合戦略推進委員会会議録
(まちづくりビジョン会議)

1 開会及び閉会に関する事項

- 1 日 時 令和4年4月11日(月)
午後3時00分開会
午後4時23分閉会
- 2 場 所 太宰府市役所3階 庁議室

2 委員出席者

委員長	八 尋 茂 雄
副委員長	八 尋 和 郎
顧問	福 留 大 士
委員	松 澤 尚 史
委員	柳 瀬 隆 志
委員	小 川 祥 平
委員	亀 崎 弘 記
委員	青 山 博 秋
委員	日下部 寛 行
委員	高 尾 忠 志
委員	石 戸 奈々子
委員	松 岡 恭 子
委員	施 光 恒
委員	杉 春 華

3 執行部

市長部局：楠田市長・清水副市長・山浦総務部長
村田総務部経営企画担当理事・轟経営企画課長

4 議題

- (1) 楠田市長二期目及び令和4年度の取組について
(2) 本年度のスケジュールについて

5 概要

議題（1）楠田市長二期目及び令和4年度の取組について

<市長説明>

- ◆令和4年度施政方針の中で当初予算として、2期目公約である「令和の都さらに羽ばたく太宰府～課題解決先進都市を目指して～」にこだわりながら、その初年度としてスタートダッシュを図るべく、コロナ禍を力強く乗り越え、令和の都として太宰府をさらに羽ばたかせるための積極的投資を行う「市制40周年未来チャレンジ予算」と銘打ち、過去最大であった昨年度をさらに1割以上も大幅に上回る290億円規模とした。
- ◆委員会の今年度の進め方として公約実現のためにグループを5つに分け、集まらなくとも普段から様々なツールを活用し、議論を重ね、グループで議論した内容を委員会に持ち寄る形の運営にしたいと考えている。
- ◆グループは次の5つのグループの設置をしたい。
 - ① 行財政改革
太宰府市は開発制限があり税収が見込めない史跡地が約16%あり、行財政改革をしなければならぬ。この中に機構改革、広域連携なども含めて議論してほしい。
 - ② 新しい公共
行政機能の肥大化とニーズが拡大している中で、職員だけで対応できることには限界がきている。例えばひきこもり対策、青少年の見守り、高齢者へのケアなどの市民と様々な連携、協力の在り方を議論してほしい。この中に窓口機能の充実・強化も含め議論してほしい。
 - ③ ニュー太宰府構想
税収や経済効果を高めていくまちづくりが必要。交通施策、全世代交流拠点の創設、駅前の様々な開発なども含め、新たな太宰府の発展の在り方を議論してほしい。
 - ④ 世界に羽ばたく人材育成
正解のない不確かな時代を更に迎える中で、子どもたちがいかに伸び伸びとたくましく育っていけるかが重要。多様性の確保や給食を含めた子育て・教育環境の充実、子供たちの育ちのための太宰府市応援団の創設などを含め、世界に羽ばたく人材育成について議論してほしい。
 - ⑤ 企業誘致・起業創業支援
太宰府市は史跡地が多く、開発する際に発掘調査が必要であり、企業進出や住宅の開発が敬遠されてきた。そのため、太宰府市にふさわしい企業誘致や太宰府市の中で新たな会社を立ち上げていただく形などを議論してほしい。その中で、コロナを見据えた観光、令和・史跡・梅プロジェクト・バリアフリーなども含めた新たな観光も議論してほしい。
- ◆各グループのリーダーとして、職員とのやりとりもあることからできるだけ地元の委員にお願いしたい。行財政改革に八尋副委員長、新しい公共に八尋委員長、ニュー太宰府構想に高尾委員、世界に羽ばたく人材育成に柳瀬委員、企業誘致・起業創業支援に青山委員をリーダーにお願いしたい。

<委員意見・提案>

- ◆今回の5つのグループというのは、この戦略の中でも特に重点施策として市長が大事にしていきたい領域であるということだが、戦略とは機会の発見と資源の集中だと思うので、絞り込みができていないのは大変望ましいことではないかと思う。
- ◆今後グループでの議論もあるので、委員会の日程については都度調整ではなく、年間の日程を提示してほしい。

<委員質問>

- ◆このグループは分科会のような立ち位置ということでもいいのか。また、その分科会である種自由にこのタイトルに対して議論をし、そこに市が資料提供、情報提供をしてくれるということだが、議論した内容をこの委員会に提出して、委員会から市長に諮問をするというような流れになるのか。どこまでの役割、責任を負っていて、どういうルートで話が進んでいくのか教えてほしい。

⇒5つのグループは、分科会という形で捉えてもらってよい。その中で、市のサポートもつけたいと考えている。成果物については、委員の任期が本年度中なので、2月の最終の全体会で報告があればありがたい。

- ◆毎年総合戦略のPDCAを回しながら太宰府市の行政は動いている。その流れがある中で、5つのテーマについては、もっとその動きとは別のところで深掘りをし、補強、強化をしていく、それを楠田市長2期4年間の中で補強し結実していきたいという理解でいいのか。

⇒総合戦略は令和6年度までの5年計画なので、この進捗も本年度中も機会があれば報告することはあるかもしれない。公約はもともと総合戦略に基づいているので、令和6年度までのゴールに向けて、また2期目のスタートとなる本年度の中で、総合戦略なり公約の5項目について、スピード感を持って実現に導いていきたい。そのような意味で、この5項目について集中的に議論してもらい、公約の実現、ひいては総合戦略の実現につなげていきたいと考えている。

- ◆ニュー太宰府構想は何を根拠にどう位置づけられるのか、どのようなものをつくろうとしているのか。歴史、緑、文化などの保全型のまちづくりから、税収とか経済活動を活発化させるような緩和型のまちづくりに方針転換をできたらというイメージだと推察していたが、その中で、交通、全世代拠点、駅開発などのキーワードを出されていたので、人と車の動き、経済活動を太宰府市の中でどのように実現していくのかというフィジカルな部分の規制緩和についての議論をすることがニュー太宰府構想だと理解していいのか。つまり、都市計画的な器の部分はどうしていけばいいのかという、長期的な話になるかと思うがその認識でいいのか。

⇒ニュー太宰府構想をどうしていくかは、委員の意見をもらいながら成案につながればと考えている。議論の中で中長期的なテーマになってくることも多くあると思う。例えば渋滞の解消などのこれまでの長い課題をすぐに解決できるとは思わないが、自転車を使った新しい交通形態の形なども議論してほしい。また、地域交通計画などは違う会議で

議論していくことになるが、担当職員からできる限り共有をしながら、ニュー太宰府構想につなげていくことができると考えている。

◆全世代交流拠点は何をイメージしているのか。既にある施設に何らかの機能を付加するのか、1か所だけなのか、ネットワークとして存在するものなのか。

⇒全世代交流拠点については、五条地域のいきいき情報センターが老朽化していく中で、ここを新たな拠点にしていきたいという漠然とした思いはあるが、当然市民、職員との共有を図りながら決めていかなければいけない。一方で、太宰府市はベッドタウンの中では高齢化率が高く、学生も多く、子どもそれなりに増えているので、いろいろな交流を通して支え合いができるまちではないか、そこは強みでもあるのではないかと考えている。そういう意味では、ハード面のものもあり、普段から全世代が支え合っていくというネットワーク的な意味も含めて、太宰府の特性にマッチする形ではないかと考えている。全世代居場所と出番構想というそもそもの考え方のため、全世代の交流は、ハード面に限らずソフト面においても大切にしたい概念だと思っている。

◆各グループを進めていくに当たり、ビジョン会議の委員以外にも議論に参考になるような方を招いて参加してもらうことは可能か。

⇒予算の制約などもあるが、できる限り自由な意見をもらいたいので、そうしたことも可能にできればと思っている。

◆外からの知見とかをもらわないと成立しないのではないかと。外から誰も入れないのであれば、委員全体で議論したほうがいい。

議題（2）本年度のスケジュールについて

〈事務局説明〉

◆本年度は年4回の委員会を予定しているが、個別施策、グループの検討状況に応じて、別途日程を追加する可能性がある。